

2024年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	数学演習	3年	4単位	教科書		副教材等	プリント等	履修対象・ 使用教室 等	アクティブ・教室
教科・ 科目 の 目標	(1) 数と式、図形と軽量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。 (2) 場合の数と確率、図形の性質または整数の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。								
評価 の 観点	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	数と式、2次関数、図形と軽量及びデータの分析における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。 場合の数と確率、図形の性質または整数の性質における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	数と式、2次関数、図形と軽量及びデータの分析において、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。 場合の数と確率、図形の性質において、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。			数と式、2次関数、図形と軽量及びデータの分析における考え方に興味を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基いて判断しようとする。 場合の数と確率、図形の性質または整数の性質における考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基いて判断しようとする。				
評価 方法	* 単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、[A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況]とする。 * 単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料 ・ 評価 比重 (100点換 算)	評価資料等	予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	単元テスト	4			100	80	10		
	パフォーマンス課題	4				20	10		
	振り返りシート	毎回					10		
	活動観察	毎回					70		
	〔観点別配分％〕			〔3観点の比重を％で示しています〕					
月進行 【計画】	【単元名】 学習項目名	配当 時間 【計画】	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕	
4 5	数と式	28	文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようになる			単元テスト	◎	◎	○
						振り返りシート		○	○
						活動観察			○
						パフォーマンス課題			◎
6 7	2次関数	32	(1)2次関数とそのグラフについて理解する。 (2)事象から2次関数で表される関係を見いだす。また、2次関数のグラフの特徴について理解する。 (3)2次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求められる。			単元テスト	◎	◎	○
						振り返りシート		○	○
						活動観察			○
						パフォーマンス課題			◎
8 9	図形と軽量	25	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。			単元テスト	◎	◎	○
						振り返りシート		○	○
						活動観察			○
						パフォーマンス課題			◎
10 11	データの分析 場合の数と確率	34	統計の基本的な考えを理解するとともに、それらを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。 (1)四分位偏差、分散及び標準偏差などの意味について理解し、それらを用いてデータの分布やデータの散らばりを比較することで傾向を把握し、説明できるようにする（データの散らばり）。 (2)散布図や相関係数の意味を理解し、それらを用いて二つのデータの相関を考察・把握し、説明できるようにする（データの相関）。			単元テスト	◎	◎	○
						振り返りシート		○	○
						活動観察			○
						パフォーマンス課題			◎
12 1	図形の性質 整数の性質	21	様々な事象を平行線の性質、三角形の角についての性質、三角形の合同条件などで捉えたり、平面図形の基本的な性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に表現することに興味をもち、意欲的に問題解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。 整数の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。			単元テスト	◎	◎	○
						振り返りシート		○	○
						活動観察			○
						パフォーマンス課題			◎
学習の アドバイス	・授業で配布されるプリントの内容を理解していく。わからない問題は解説をみて解けるまで繰り返す。 ・振り返りシートは授業ごとの理解度を確認するため必ず提出してください。 ・単元テスト実施については1週間前には連絡をすることで計画的に学習してください。								